

公益財団法人移行に伴う今後の新しい事業展開について 日本で唯一の総合的デザインプロモーション機関として新たなスタート

グッドデザイン賞などを主催する財団法人日本産業デザイン振興会(東京都港区)は、内閣総理大臣より公益財団法人への移行認定を受け、2011年6月1日付けで「公益財団法人日本デザイン振興会」と名称を変更し、日本で唯一の総合的デザインプロモーション機関として新たなスタートを切りました。初代会長には日本のデザイン界を長年牽引してきた永井一正が就任し、新しい時代に求められるデザインの国際的な振興活動について、グッドデザイン賞をはじめとする各事業を通じて実行に移してまいります。また、未曾有の災害からの復興支援を公益財団法人として果たすべき役割と考え、「復興支援デザインセンター」を同日付で発足させ、政府やデザイン関連団体・企業等と連携しつつ、この課題に長期的に取り組んでまいります。

○団体概要

新名称 和文 / 公益財団法人日本デザイン振興会
英文 / Japan Institute of Design Promotion (略称: JDP)

旧名称 和文 / 財団法人日本産業デザイン振興会
英文 / Japan Industrial Design Promotion Organization (略称: JIDPO)

住所 〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5階

会長 永井一正

目的 デザインの向上を図ることによって、産業活動のさらなる推進と生活の文化的向上および社会全般の健全な発展に寄与すること。

○評議員および理事

評議員	石島 辰太郎	産業技術大学院大学 学長	
	井出 亜夫	日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科 教授	
	稲葉 賀恵	服飾デザイナー	
	内藤 廣	内藤廣建築設計事務所 代表取締役	
	松尾 慶一	白山陶器株式会社 代表取締役社長	
	宮崎 修二	東邦ガス株式会社 執行役員(経営調査担当)	
役員	理事長	飯塚 和憲	公益財団法人日本デザイン振興会
	常務理事	青木 史郎	公益財団法人日本デザイン振興会
		阿部 雅栄	公益財団法人日本デザイン振興会
	理事	植松 豊行	東北芸術工科大学 教授
		キュー・リーメイ・ジュリヤ	武蔵野美術大学 教授
		九戸 真樹	社団法人青森県観光連盟 専務理事
		田中 一雄	株式会社GKデザイン機構 代表取締役社長
		益田 文和	東京造形大学 教授
		御園 秀一	株式会社テクノアトリサーチ 代表取締役社長
		森山 明子	武蔵野美術大学 教授
	監事	平野 弘道	平野弘道税理士事務所 所長
		渡部 行光	渡部会計事務所 所長

(敬称略)

○新VI (ビジュアル・アイデンティティ) について

ロゴデザイン/廣村正彰 オリジナルマークデザイン/亀倉雄策

オリジナルマークは、日本を代表するグラフィックデザイナーの故亀倉雄策氏が、1973年のICSID世界デザイン会議・京都の際にデザインしたものの、「波紋」をモチーフにしたマークを、前身である日本産業デザイン振興会から継承して用いています。



公益財団法人日本デザイン振興会
Japan Institute of Design Promotion

○会長 永井一正について

1929年大阪生まれ。1951年東京芸術大学彫刻科中退。1960年株式会社日本デザインセンターの創立に参加。現在、同社最高顧問。JAGDA特別顧問、ADC会員、AGI会員。2011年6月より公益財団法人日本デザイン振興会会長を務める。主な仕事に札幌冬期オリンピックシンボルマーク、沖縄国際海洋博覧会シンボルマークなど。

○主な事業について

グッドデザイン賞 <http://www.g-mark.org/>

1957年に旧通商産業省によりグッドデザイン商品選定制度として創設。1998年からはグッドデザイン賞として財団法人日本産業デザイン振興会の主催事業となる。商品、建築・環境デザイン、コミュニケーションデザインなどを対象とする総合的なデザイン評価・推奨の運動として、これまでに37,000件以上の受賞デザインを生み出しています。



**GOOD
DESIGN**

DESIGN NEWS (デザインニュース) <http://www.jidp.or.jp/dn/>

2011年6月からデザインにまつわる情報を幅広く発信するウェブメディアとして開始しました。国内外のデザイン動向に関する情報を提供するとともに、日本のデザイン情報のアーカイブとしての役割を担う媒体となります。

東京ミッドタウン・デザインハブ <http://www.designhub.jp/>

2007年4月に東京ミッドタウン内に開設したデザインネットワーク拠点。デザインによって人、ビジネス、知識を結びつけ情報発信する活動の場として、展示やセミナー、ワークショップなどを展開しています。

復興支援デザインセンター

2011年6月から東日本大震災への復興対応として、被災地への支援に加えて、震災後の日本のあり方を見据えた下記の主旨に基づく事業を展開します。

1. 震災を経て変化した価値観を受けたデザインの構築、デザインを通じた社会意識の育成への研究
2. 被災地域のデザイナー・デザイン関係者による情報発信機会の提供
3. 関東圏など非被災地のデザイナーによる被災地域のデザイナー・企業への支援活動